

上小森林認証協議会

上田地域の国際認証森林と森林管理

森林認証制度は持続可能な森林経営を実現するために策定した森林管理手法などを、第三者機関が国際的な基準に照らして審査・認証する制度です。

長野県上田地域の4市町村では、当協議会が窓口となり市町村有林などの公有林を中心に森林認証を取得し、地域における森林・林業の規範となる適正な森林管理に取り組んでいます。

SGEC森林認証※

森林認証システムは海外を中心に多くのシステムが構築されていますが、わが国でも日本らしい森林認証を策定しようとする機運が高まり、平成15年に「緑の循環」認証会議(SGEC)が設立されました。森林認証では森林そのものの品質を保証しており、森林認証の可否を判定するための7項目の認証基準を定めています。

- 基準1 認証対象森林の明示および管理方針の確定
- 基準2 生物多様性の保全
- 基準3 土壌および水資源の保全と維持
- 基準4 森林生態系の生産力および健全性の維持
- 基準5 持続的森林経営のための法的・制度的枠組み
- 基準6 経済的便益の維持・増進および地球温暖化防止への寄与
- 基準7 モニタリングと情報公開

※…エスジェックにんしょうしんりん、Sustainable Green Ecosystem Councilの略称

森林認証の取得状況

団体名	上小森林認証協議会
設立	平成28年2月18日
会長	長和町長 羽田健一郎
構成員	上田市、東御市、長和町、青木村、 長野県、信州上小森林組合
事務局	上小林業振興会
認証日	平成28年4月27日(第一期) 令和3年4月27日(第二期)
認証面積	9,442.89ha



SDGsに貢献する 森の循環・木の利用

シンクグローバル・アクトローカル

SDGsの17の目標には169の具体的なターゲットがありますが、この目標とターゲットは地球上に生きる全ての人々を対象としており、私たちは目標達成の受益者であると同時に、目標達成に向けた行動者でもあります。

シンクグローバル（地球規模で考え）アクトローカル（地域で行動する）という言葉がありますが、私たちはSGEC認証森林における活動を通じて上田地域に相応しいSDGs達成のための行動の一步を踏み出します。

認証森林のSDGs

CO2吸収による地球温暖化防止、生物多様性の保全、水資源のかん養、林業を通じた地域経済の振興、パートナーシップの推進などに貢献。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※ 新国立競技場の建設では上田地域の木材が利用されました。

写真：花岡敏道、田島裕志、信州上小森林組合、PIXTA

上小森林認証協議会 [事務局 上小林業振興会]

所在地 386-8555 長野県上田市材木町 1-2-6

TEL 0268-23-1260 (内線 2415)

FAX 0268-27-2245

Email jfrg@po13.ueda.ne.jp

地球温暖化防止



カラマツ林

水資源のかん養



塩田平の田園風景

生物多様性の保全



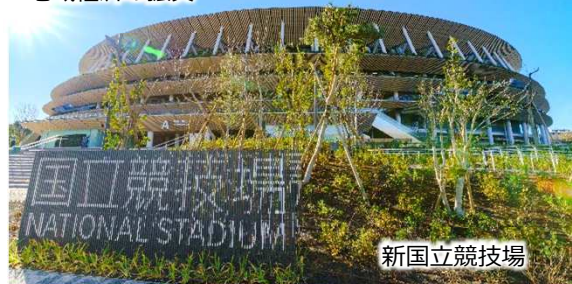
絶滅危惧種 オオルリシジミ

地球温暖化防止



森林整備(搬出間伐)

地域経済の振興



新国立競技場

生物多様性の保全



絶滅危惧種 イヌワシ